

添削前

添削後

添削例 1

僕は小さい頃から車が好きだった。父と兄が好きなので、多分そのせいもあると思う。例えば、車で街などにいたら、通り過ぎる車などの話になる。あともう一つの理由は、自分が大人になった時に、何も知らずに買いたくないから。そういうことで、今は車の本や模型やゲームなどで選んでいる。昔は、格好良きなどで選んでいたけど、今は環境のことを、全体的なパフォーマンスで選んでいる。

僕は、どこに行っても車のことから離れない。車のことには調べただけ調べた。特に、性能については、日本は日進月歩であり、世界水準なので、今でも大変興味がある。ただ、最近は昔のように格好だけではなく、環境問題にも関心がある。地球を破壊してはならない。人と車と自然の共存を望まないと、本当の車好きとは呼べないと思うようになった。

添削前

添削後

添削例 2

僕は、幼稚園の頃から剣道をやっている。最初は親と見学に行った時でもきつそうだった。兄がやっていたので仕方なく、僕も習い始めた。やっぱり見学しに行った時、よっぽどきつかった。僕は嫌にならずに練習をあまりいかにしようとした。

僕は、幼稚園の頃から剣道をやっている。剣道では、意識して攻撃しているときには、強い攻撃はできない。体全体をレターのようにして、全身で相手の動きを捕らえ、相手の微かな気配に反応して無意識的に攻撃する。すると、いい結果につながる。つまり、技を活かすには技を忘れないといけない。技とは、必要ではないが、それだけでは十分なものではないのだ。

添削前

添削後

添削例 3

僕は、中学2年生の時にギタリストに憧れていた。そして、夏の初めにギターを買った。練習を始めた。しかし、思っていた以上に難しく、なかなか音も綺麗にならなかった。

ギタリストになくして僕の青春は語れない。毎日5時間は練習をしている。指先は誰よりも固く、ギターは練習をすることで、指先が柔らかくなる。僕にとっては、ギターの練習が勉強そのものだ。綺麗な音を出すには、技だけではなく、人を感動させるには、人の感情を理解できない。このことは、人間関係を築く基礎でもあると思う。

添削前

添削後

添削例 4

僕は、中学1年の時にバス釣りをしています。その時は、ただ単に釣って食べているだけ。そのうち、本を読んだりテレビを見て色々なことを覚えたりして、中2の時は色々な生魚を知って本格的に釣っていました。

バス釣りは奥が深いと思います。バス釣りを始めた中1の頃はルアーを投げて巻き取るだけの繰り返しでしたが、今は違います。魚の生態、天気の影響、池のコンディション等を考えた上での魚との戦いです。こういう形でバス釣りをしていると、バスと会話をしているように感じます。相手の事が分かると初めて会話が成り立つようです。人間関係にも同じことが言えます。